

KUROSHIO

KUROSHIO

March 2021 Volume 46

鹿児島県立短期大学
地域研究所

■ 巻頭言			
黒潮の源流における廃車放置問題の解決のために	学長	塩地 洋	1
■ 退任の挨拶			
退任挨拶	商経学科	朝日吉太郎	2
ありがとう さようなら	生活科学科	井余田秀美	2
■ 新任の挨拶			
鹿児島と関西の結びつき	学長	塩地 洋	3
新人の挨拶	生活科学科	上笹貫鷹暁	3
■ 生涯学習の取り組み			
2020年度 鹿児島県立短期大学 公開講座			
「異文化理解のために 文学・言語・歴史」	文学科	小林 朋子	4
2020年度 鹿児島県立短期大学 奄美サテライト講座	生活科学科	坂上ちえ子	7
2020年度 伊敷公民館講座 生き生きシニア大学	文学科	小林 朋子	9
■ 地域研究報告 2020年度プロジェクト研究			
<個人プロジェクト>			
奄美大島・泥染めによる美術作品の制作	生活科学科	北 一浩	11
事業継承を行う中小企業における管理会計導入要因の分析	商経学科	宗田 健一	11
■ 研究・社会活動報告			
2020年度 鹿児島県立短期大学教員 研究社会活動実績一覧			

■ 巻頭言

黒潮の源流における廃車放置問題の 解決のために 学長 塩地 洋

太平洋島嶼国における廃車放置

黒潮の源流に近い太平洋島嶼国 14 カ国に推定 6 万台の自動車の廃車が解体 / リサイクルされないまま放置されている。人口 1 万人当りの放置台数は 60 台にも達し、日本の 0.4 台の 150 倍となる。放置車両からはフロンガスやエアバック爆発剤、各種オイルが漏れ、土壌、地下水、大気を汚染しつつある。

放置車両 6 万台の 90% 以上は日本から輸出された中古車が当該国で 10 年近く使用された後に廃車となったが、解体 / リサイクルされずに放置されている車である。

狭小性、遠隔性、分散性

放置車発生の原因は、第一に、各国の人口 / 経済規模の狭小性である。狭小故に廃車ガラ / 鉄スクラップを金属へ再生する電炉、精錬炉等の経済的採算性が成り立たない。リサイクルのための工業設備が存在しない故、金属類の再資源化が国内で行ない得ず、海外に持ち出さざるをえない。

しかしながら第二に、地理的な遠隔性が大きな壁となる。太平洋島嶼国から廃車ガラ / 鉄スクラップ等を、電炉や精錬炉のある国（日本や豪州、台湾等）に運び出そうとしても海上輸送コストが割高となる。「鉄スクラップ 1 トンを運ぶのに海上輸送コストが 1 万円かかる。日本に持ってきて鉄スクラップ 1 トンの買取価格は 1 万円にすぎない」と言われる。

自動車リサイクル困難国

それ故当該地域では自力による自動車解体 / リサイクル事業が完結しえない。こうした国を「自動車リサイクル困難国」と規定する。かかる自動車リサイクル困難国では孤立的に努力しても自動車リサイクル事業は停滞、縮小が避けられず、放置車両は増大する一方である。かかる自動車リサイクル困難国に対する国際的支援が必要である。この国際的支援の必要性 / 責任性という点で近年、リサイクルを構成する三つの R（リデュース、リユース、リサイクル）に加えて、4 番目の R としてリターン（廃棄物の持ち帰り）が主張される。自動車リサイクル困難国であることを知りながら、当該国に将来廃棄物となる物財を持ち込んだ海外企業やその政府が応

分の負担として、リターン（持ち帰り）を果たすべきである。そうした観点から日本からの国際的支援の提案を行なうことを提起すべきである。

放置車両問題の解決策—新しい国際的な自動車リサイクル分業

新たな国際的支援は、第一に、日本から中古車が輸出される際に「リサイクル預託金」（新車販売時に購入者から徴収した自動車リサイクルのための基金）を中古車輸出企業に還付しないで、日本の自動車リサイクル促進センターに保管し、輸出された中古車が太平洋島嶼国で廃車となった時に保管していたリサイクル預託金を活用して廃車を回収することである。すなわち最終ユーザーが廃車を解体工場に持ち込めば、そのインセンティブとしてリサイクル預託金を受け取ることができるようにすることである。

第二は、太平洋島嶼国から日本へ金属スクラップ等を持ち帰る海上輸送費に対して、外務省による政府開発援助や日本自動車リサイクル推進センターの「特定再資源化預託金」（2020 年現在約 190 億円）を使って補助を行なうことである。この補助によって日本にリサイクル資源を持ち帰って国際相場価格で日本側の資源会社がいちも資源会社が利益のビジネスが可能となる。

第三は、太平洋島嶼国に適合した解体方式、すなわち廃車台数の小さい国でも解体事業が経営的に成り立つ解体 / リサイクル方式である「手ばらし解体」である。投資額が数十億円にもなるニブラや大型プレス等を導入しないで、人力作業のみによる手ばらし解体である。この精緻解体は三つの利点がある。(1) 丁寧に取り外していくために中古部品としての再使用比率が高くなる。(2) 丁寧に取ると、たとえば銅以外の金属をまったく含まない純銅のスクラップ部品となり、資源会社の買取単価が上がる。(3) 廃車ガラや金属スクラップの輸送効率を高め、輸送コストが下がる。精緻手ばらし解体こそ島嶼国に適合的な方式である。

太平洋島嶼国の放置車両問題の問題解決のための最も核心的かつ基本的な提案を本論は提起している。

■ 退任の挨拶

退任挨拶
商経学科 朝日 吉太郎

退任の日が近づいてきたが、とっても忙しい。退任後の人生を一新する準備をしているからだ。準備の内容には、研究室の整理、県短就職以来の溜まりに溜まった書類の処分や書籍の処分といった退職準備のやっかいな作業に加えて、研究のまとめ、学生教育のまとめ、気持ちのまとめその他いろいろなまとめを、少し前向きな形でおこなう作業がある。

研究のまとめは、研究生生活の総括的な内容を記した『現代資本主義と資本・賃労働関係』。文理閣から今年春に出版される予定である。第1部、資本・賃労働関係の分析方法、第2部、イデオロギー的社会的関係を含む現代の資本・賃労働関係一般的理解、第3部、民族的形態規定を受けた日本とドイツにおける具体的関係分析、第4部、デジタル化と労働の未来、の4つの内容からなる。

学生教育のまとめは、『就活にとまどう君へ朝日ゼミ秘伝就職術登場』という標題で、日本橋出版から、これも今年春に出版される予定だ。長年、朝日ゼミ以外は門外不出とされ、毎年、演習Ⅰのゼミ合宿で密かに伝えられてきた内容が、朝日ゼミがなくなる今、全国の学生に発信されることになる。ゼミ合宿での対話のような形式で、分かり易く、読み易く、就活のために何を考えればよいか、何を伝えられるようになればよいか、大切なことがわかるようにしてある。朝日はるな氏のイラスト付き。本書は、上記の学術書を作成中、2週間余りで骨子を書き上げ、企画書、原稿を送付する殴り込み的なやり方で、出版社がOKしたもの。ジャーナリストの竹信三恵子氏からは「大変参考になった。面白かった」と、帯の推薦文を書いていただいた。これが書店に並ぶ。

気持ちのまとめだが、退任後は研究と執筆を続けながら、地域の知的活動の支援、労働者教育、市民活動等の社会的課題を仕事にするような活動を考えている。4月には社会人向けに社会を見る目が変わるちょっとアカデミックな文化教室が立ち上がっているかも知れない。

最後に、お世話になった県立短大の教職員・学生みなさんに心から感謝を申し上げたい。

ありがとう さようなら
生活科学科 井余田 秀美

ありがとう さようなら 学生の皆さん

気立ての良い学生、少し注意するとすぐに変わって良くなった学生、打てば響く学生、温かい気持ちで思い出します。うまくいかないときは次には一工夫して良くなった授業もありました。勉学熱心な学生を教えるのは楽しかったです。編入学を希望する学生には過去問を取り寄せてもらい、編入学の課外授業もしました。編入学後フルに学んで博士の学位を得た卒業生もいます。

ありがとう さようなら 実験室・研究室

私は洗剤（界面活性剤）水溶液の基礎研究と液体薄膜（シャボン玉の膜など）の物性研究を行ってきました。前者は、学生時代に始めて、鹿児島に来てからも継続していたものです。後者は20年前に本学の海外研修制度（現在は凍結中）と文部省の在外研究員制度に支えられて、ドイツの研究所で学んだものです。実験、理論、発表、論文作成の全てに努力を続けたので、自分の力量以上の研究ができました。完成に3、4年を要した、最高精度のデータが得られる実験機器を残して去るのは少し寂しいですが、機器の導入に協力していただいた会計課の皆様、購入費用の貸借をしていただいた教員の方々に感謝します。

ありがとう さようなら 同僚の方々

学校運営等で、私の足りないところを補い助け、協力してくださった方々（ほぼ全教職員）に感謝します。なんとか健康で仕事のゴールができて満足しています。本学は学生が学び成長して卒業するところですが、教職員も同様に、成長できる場だと思えます。

またいつか笑顔でお会いしましょう。
Good luck!

■ 新任の挨拶

鹿児島と関西の結びつき 第12代学長 塩地 洋

2020年4月に県短に赴任しました。鹿児島で居住するのは初めてです。生まれは和歌山で祖父は鰹漁を営むとともに鰹節の工場をもっていました。和歌山も黒潮が沿岸を流れ、鰹漁が盛んで、鰹をよく食します。このように黒潮から大きな恩恵をうけているという点で和歌山は鹿児島と共通する点が多くあります。さらに薩摩と土佐、紀州は鰹節づくりの点で、古くから加工技術を相互に交流してきた歴史があります。和歌山生まれの私が鹿児島で仕事をするのも何かの縁があるのかもしれませんが。

蛇足です。鹿児島県内の大学の学長会議でわかったことですが、鹿児島大学の佐野学長も鹿屋体育大学の松下学長も関西育ちで、何かの力で関西人が鹿児島に引っ張られてきたと思われる。

鹿児島に来る前は、1974年に京都大学経済学部に入學して以降、学部生、院生、そして5年間の九州産業大学商学部での勤務を挟んで、京都大学大学院経済学研究科に教員として戻り、のべ41年間京都大学に在籍しておりました。教員時代は年に数回、2カ月程度は海外調査をこなしていました。自動車産業の国際比較をテーマに79カ国、約8,000カ所の現地取材を行ない、各国のモータリゼーションや自動車産業の国産化の実態を調査していました。こうした海外での経験を鹿児島で役立てたいと願っております。

2020年11月からは地域連携プラットフォームの一環として「かごしまフォーラム」を立ち上げました。鹿児島にとって重要な課題を大学研究者の立場から議論していきたいと考えております。たとえば、原子力発電所をどう受けとめるか、航空宇宙産業への鹿児島企業の参入をどうはかるか、鹿児島の農産品や伝統的工業製品をいかに海外に輸出するか等です。これらのテーマの議論を通じて、鹿児島の経済界と県短との結びつきを強めていくことが目的です。鹿児島大学の産学・地域共創センターをお手本としながら、県短の独自性も発揮して、地域経済に貢献していく道を進みたいと考えております。

新人の挨拶

生活科学科 上笹貫 鷹暁

2020年4月に生活科学科に着任いたしました上笹貫鷹暁と申します。若輩ではございますが、ビジュアルデザインを専門に地元鹿児島に少しでも貢献ができるよう努めて参ります。どうぞご指導ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。

本学の生活科学専攻を卒業後、鹿児島市内の制作会社に就職しました。そこでは、デザインと印刷をメインに、映像やWEBサイトなど媒体を問わない広告物全般の制作を行っており、私はディレクターとして、企画やデザイン、営業も担当する立場で様々なプロジェクトに携わってきました。担当のクライアントも幅広く、個人経営の方から、官公庁、大手広告代理店や某有名スポーツメーカーなど様々でした。制作内容も多岐にわたるため、自然とデザイン以外の写真や映像、WEBなどのスキルも身につけることができました。業務によっては、カメラマンや、フリーのデザイナー、映像作家、フードコーディネーター、ライター、声優など鹿児島県内で活動しているクリエイターの方々とお仕事を一緒する機会があり、その度に学びと刺激を得ていました。

そして今年度より、ご縁がありまして、母校の県短に助教という形で戻って参りました。教育活動に関しましては、「地方の活性化」を大きなテーマに取り組みたいと思います。良さを引き出す、発信する仕組みを考える、課題に対して最適なコミュニケーションがデザインできる。単にモノをつくるのではなく、課題を体系的に捉えて仕組みからモノづくり、そしてそれを発信するまでのコトをつくりだせるかが、今の地方に必要なことだと考えます。素材が豊富な鹿児島にまさに当てはまる分野です。教育活動を通してデザイナーを志す人が増えれば本望ですが、そうでなくても自ら考えて鹿児島をおもしろくする人材が多面で増える働きをしていきたいと思います。そのために、グラフィックやプロダクトなどのジャンルに縛られないモノづくりを通して、全体的な仕組みを考えられるように教育を実践していきたいと思います。

■ 生涯学習の取り組み

2020年度鹿児島県立短期大学公開講座（鹿児島県民大学連携講座） 「異文化理解のために 文学・言語・歴史」 文学科 小林 朋子

本年度の公開講座は、「異文化理解のために 文学・言語・歴史」をテーマとして、異文化を理解し受容することが求められる現在のグローバル化・国際化が進む世界において、その助けとなる文学・言語・歴史の諸側面について、文学科の教員が分かりやすく解説した。講座は9月12日から10月31日までの毎週土曜日の午後、全8回にわたり実施し、受講登録者数30人、延べ受講者数182人であった。なお、6回以上受講した20名には修了証が授与された。コロナ禍のため、時期をずらし感染防止対策を取りながらの開催となったが、例年とほぼ同数の受講者の方々に学びの場を提供できたことは有難いことであった。

◇各講座の担当者とテーマは次表の通りである。

回	実施日	講師名(所属)	テーマ
1	9/12	ガルシア・アロヨ ホルヘ(文学科)	欧州で天正外交使節団と慶長外交使節団の歴史的な例を通じた異文化の理解
2	9/19	楊 虹(文学科)	言葉からみる日本人と中国人の「？」なコミュニケーション行動
3	9/26	遠峯伸一郎(文学科)	「グローバル化」と英語－英語を使って何をするのか？
4	10/3	竹本 寛秋(文学科)	日本の近代文学に記された異文化
5	10/10	轟 義昭(文学科)	大衆文化のなかで生き続けるアーサー王伝説
6	10/17	木戸 裕子(文学科)	遣唐使の記憶と平安物語－平安人の異文化との遭遇－
7	10/24	小林 朋子(文学科)	トニ・モリスン『青い眼がほしい』から読み解く「他者」の起源
8	10/31	望月 正道(文学科)	鹿児島の「観光案内」を読む

◇各講師の講座内容は次の通りである。

第1回 ガルシア・アロヨ ホルヘ

天正使節と慶長使節はスペインとバチカンと日本の最初の公式の外交接触をした。遠い異国的な文化の人々がヒスパニックの地面を踏んだのは、初めてことだったので、スペインへの日本人の到着は物議をかもした。だから、これらの二つの使節で、日本人はスペインに対してどのようなイメージと影響を与えたかを明確にしたい。そのため、まず、スペインとローマでの滞在中、日本人の文化的な用途を分析して、衣類に焦点を当てた。日本人の文化的な用途をヨーロッパ人と比較する。特に日本人の大使の衣類と当時のスペイン人の衣類という比較だ。そして、その比較は、両方の使節の生きた時代に作られた絵画や版画と当時のスペインの絵画を使用して行った。

第2回 楊 虹

日本語と中国語によるコミュニケーションの

特徴の違いを、具体的な場面を取り上げて解説した。まず日常生活において、「ありがとう」や、「ごめんなさい」等の感謝、謝罪の表現を頻繁に言うか否か、また言う時にどのような表現を使うかにおける日中の違いを挙げた。その後、新しいメディアとして普及しているLINEのチャットの会話を例に、日本人と中国人の大学生のコミュニケーションスタイルの特徴を示した。具体的には、同じく「誘い、予定合わせ」という目的の会話においても、日本語と中国語では、会話の展開がかなり異なることを、実際の会話を示しながら解説した。

第3回 遠峯 伸一郎

日本人の英語に対するニーズは実は低い、というのは寺沢拓敬氏がその著書で指摘するところである。しかしそれにも関わらず日本人の英語に対する関心は高い。その関心の高さは、英語を流暢に話すことへの憧れや早期英語教育の人気に窺われる。そして、文部科学行政や財界も世間の関心を一層煽るように、グローバル化で英語は必須である、2020東京オリンピックに

向けて日本人の英語力を高める, など, のスローガンを出している。本講座では, このような英語に対する過剰なまでの関心からは距離を置いて, 日本人にとっての英語のあり方について考察を試みた。

第4回 竹本 寛秋

「日本」「日本文学」という枠組みを捉え返すために, その境界を越境, 横断するような書き手の文章を紹介した。「日本」「日本語」「日本人」「日本文学」などが, 無前提に同質のものではありえないことを考える契機となればと考えている。主に扱った作家・作品は, 金時鐘『猪飼野詩集』, デビット・ゾペティ『いちげんさん』, リービ英雄『星条旗の聞こえない部屋』『日本語を書く部屋』, 水村美苗『私小説 from left to right』『日本語が亡びるとき』, 温又柔「好去好来歌」『台湾生まれ 日本語育ち』, 奈良枝『由熙』などである。

第5回 轟 義昭

アーサー王伝説とは中世騎士道物語です。中世ヨーロッパの文化圏に属するものですが, 伝説的なアーサー王は, 時間と空間を越えて, 21世紀の日本の大衆文化のなかにも溶け込んでいます。書籍, ミュージカル, 音楽, 映画, 絵画, 漫画から具体例を挙げて解説しました。これは異文化(異なる文化に属するアーサー王伝説)が自文化(日本の大衆文化)のなかでどのように受容されているかを解説したことになります。その上で, 池田光徳氏の「異文化理解」の考え方に基づいて, 歴史と文学の視点から, (1) アーサー王はどのようにして伝説的人物なのか, (2) アーサー王伝説(Arthurian legend)とは何かについて解説しました。

第6回 木戸 裕子

奈良時代・平安時代を通じて最大の異文化交流といえば, 遣唐使の派遣であろう。最後の遣唐使派遣は承和3(836)年だが, その記憶は平安時代全体を通じて, 物語や説話に反映された。本講座では, 遣唐留学生阿倍仲麻呂と吉備真備の二人の事績を中心に, 『続日本紀』に見える, 遣唐使の遭難記事を紹介しつつ, それらの記録と記憶が平安時代の物語にどのように表れているかを解説した。遭難の記録は『竹取物語』や『うつほ物語』に, 阿倍仲麻呂と吉備真備については院政期の『江談抄』の「吉備大臣入唐の事」に表れている。実際の阿倍仲麻呂や吉備

真備は唐の朝廷に厚遇されていたにもかかわらず, 約200年後に作られた物語中では唐の朝廷からその優秀さを妬まれて命を狙われたという話になっており, 交流が途絶えると相手に対して不信感を抱いてしまうので, 実際の異文化交流が大切であることを説明した。

第7回 小林 朋子

モリスンは、『他者の起源』のなかで, デビュー作『青い眼がほしい』は, 人種的自己嫌悪の害を探求した最初の作品であり, その流れは晩年の作品まで続くと述べる。モリスンは生涯を通して, 人種問題を正面から扱いながらも, 人類に共通する普遍的な問題をその文学世界にうつし取った。それが可能だったのは, 彼女が善人とか悪人とかいった「物語」的な判断を下される前の丸腰の個人を丹念に描き出すことのできる稀有な作家であったからだ。本講座は『青い眼がほしい』を精読することで, 作家の分身(alter ego)として描かれる8歳の少女の語りを通して, 1930年代アメリカ社会に生きた人々の心象を読み取り, 人がいかに「他者」となるのかを考察した。

第8回 望月 正道

鹿児島県と鹿児島市の観光案内板や外国語版観光パンフレットについて, 統計から見てどの言語が必要となるか, 英語・中国語・韓国語の特徴, 路面電車の多言語表示で停留所名称を翻訳するのは妥当か, シティビューのバス停名称はどうか, シティビュー・マリンポート・かんまちあ・ザビエル公園などのカナで表記される語の翻訳はどう扱うのがよいか, メルヘン館・黎明館の英語名称が役所内部で共有されていないこと, 街角の観光案内板に間違いが多いこと, 特にハンブルに問題があること, 表紙に大きく英語が書いてあるのに内部はさっぱりな「なんちゃって英語パンフ」の問題, などについて紹介した。

◇講座の最後にアンケート調査を実施し, 22人から回答が得られた。以下ではアンケート結果のまとめを記す。

1. 今回の講座を知ったのは
 - ①短大のホームページ …………… 4
 - ②県短からのお知らせ …………… 1 2
 - ③ポスター …………… 0
 - ④知人から …………… 3

⑤その他 3

2. 今回の講座は

①よかった 21

②ふつう 1

③よくなかった 0

3. 自由意見
- * 知らないことが多く、楽しい講座でした。
 - * テーマを決めた講座で興味の無い分野の話でも、先生方の講義で新しい発見や楽しい時間となった。
 - * 異文化の作品について、内容がよく理解できた。
 - * 普段聞くことの無い文学等の話をじっくり学ぶことができました。様々な見方があり、興味深い内容でした。
 - * 思いもしなかった、専門的な話が聞けました。
 - * 多くの資料をいただいたので、講座の内容が良く理解できた。
 - * 異文化の理解を初めて学ぶことができました。(とてもわかりやすい講義だった。)
 - * 文化に関する講座をあまり聞いたことがないため、新鮮でした。(異文化について少し理解ができた。)
 - * 知らない世界を知る機会となった。
 - * 普段聞けないような話を聞けて、楽しかった。
 - * コロナ対策も万全になされ、安心でした。
 - * 丁寧・熱心な講義で面白かった。本を読むきっかけとなりました。

かごしま県立短期大学連携講座

令和2年度
鹿児島県立
短期大学
公開講座

異文化 理解の ために

文学・言語・歴史

グローバル化・国際化が進む世界では異文化を理解し愛着することが求められます。
本講座ではその助けとなる文学・言語・歴史の諸側面について講じます。

① 九州で天正赤十字使節団と豊後外伝使節団の歴史的な例を通じた異文化の理解
ガルスア、アロモ、オムヘ(文学科講師)

② 言葉からみる日本人と中国人の「?」なコミュニケーション行動
堀江(文学科助教)

③ 「グローバル化」と英語-英語を使って何をするのか?
遠藤 幸一郎(文学科教授)

④ 日本の近代文学に記された異文化
竹本 真樹(文学科教授)

⑤ 大衆文化の中で生き続けるアーサー王伝説
高橋昭(文学科教授)

⑥ 遠藤健の記憶と平安物語-平安人の異文化との遭遇-
木村 寿子(文学科教授)

⑦ トニモトス「青い瞳がほしい」から読み解く「他者」の起源
小林 朋子(文学科准教授)

⑧ 鹿児島県の「観光案内」を読む
菅月 正道(文学科准教授)

日時: 令和2年9月12日~10月31日 毎週土曜日 13:30~15:30(全8回) 【申込方法】
 場所: 鹿児島県立短期大学 3号館 第14講義室 ハガネ・FAX・電子メールで、住所、氏名、年齢、電話番号のほか
 対象者: 一般市民 受講料: 無料 「公開講座希望」と明記してお申し込みください。
 定員: 40名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。) Fax: 099-803-4473 Email: kentankyo@pref.kagoshima.lg.jp
 募集期間: 令和2年8月17日(月)~9月4日(金) 〒990-0005 鹿児島市下伊敷1-52-1 鹿児島県立短期大学 教務課

※新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用や手洗い等に協力くださるよう、お願いいたします。今年度は感染予防対策として、アルコール消毒液の用意や、講義中止となる場合もありますので、「開講希望」は可視化をさせていただきます。

お問い合わせ先/ 鹿児島県立短期大学 教務課 公開講座担当 Tel: 099-220-1112(内線137) 鹿児島県立短期大学

2020年度 鹿児島県立短期大学 奄美サテライト講座
生活科学科 坂上 ちえ子

令和2年度の奄美サテライト講座は、次表の内容で実施された。今年度は、会場を変えて2日続けての開催となった。当初予定していた日程は、台風接近のため中止となったが、延期して開催した。奄美会場の場所の変更はあったが、講師や講演テーマなどは当初の計画通りとなり、開催地の方々の協力も得て、無事に終えることができた。会場の広さとソーシャルディスタンスを考慮した最適な参加者数であった。年齢層は例年通り、50歳代以上が大半を占めたが、奄美会場では高校生2名の参加もあった。

令和2年度 奄美サテライト講座 実施結果

奄美会場 11月14日(土) (奄美市 AiAi ひろば多目的ホール2F)

時間	講師名(所属)	テーマ	参加者数
13:30～ 15:00	亀井 勇統 (生活科学科)	医食同源：食べ物は病気を予防できるのか？	36名
15:10～ 16:40	塩地 洋 (学長)	南の島における廃車放置問題	16名

瀬戸内会場 11月15日(日) (瀬戸内町立図書館・郷土館 視聴覚室)

時間	講師名(所属)	テーマ	参加者数
13:00～ 14:30	亀井 勇統 (生活科学科)	医食同源：食べ物は病気を予防できるのか？	22名
14:40～ 16:10	塩地 洋 (学長)	南の島における廃車放置問題	19名

随行・設営 井手次長兼総務課長

講義概要

塩地洋「南の島における廃車放置問題」

太平洋島嶼国14カ国には現在約6万台の廃車が放置されている。人口当たりの放置台数は日本の250倍となる。放置車両からは、フロンガスやエアバック爆発剤が漏れ、環境を汚染している。

この6万台の放置車両の90%以上は日本から輸出された中古車が使用済車両となった後に、部分的に部品取り/解体が行われ、廃車ガラとなった車両である。この解決に向けて日本政府/企業も応分の責任を負っているのではないかと、ということが本報告の問題提起である。

亀井勇統

「医食同源：食べ物は病気を予防できるのか？」

食べ物にはタンパク質、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラルの五大栄養素を中心に、色や香りなどの嗜好成分、さらには病気を予防する働きのある機能性成分が含まれている。講演では、これらの栄養成分が欠乏することによる欠乏症などについて説明し、がん、感染症、生活習慣病などの様々な病気の予防に有効な種々の

機能性成分の実例について紹介したほか、日本人が好んで食する海産物に含まれている機能性成分の病気の予防効果について解説した。

アンケート結果 (2会場：回答数140)

(1) 男女

奄美会場：男・11名、女・23名、未回答・2名
瀬戸内会場：男・10名、女・8名、未回答・4名

(2) 年齢

奄美会場：10歳代・2名、20歳代・0名、30歳代・2名、40歳代・3名、50歳代・6名、60歳以上・21名、未記入・2名
瀬戸内会場：10歳代・0名、20歳代・3名、30歳代・2名、40歳代・3名、50歳代・12名、60歳以上・1名、未記入・1名

(3) 講座を知ったのは (2会場合計、複数回答)

県短HP・6名
新聞・13名
ポスター・13名

- 知人・・・16名
市HP・・・6名， 未記入・・・5名
- (4) 講座の評価 (2会場合計)
良かった・・・46名
普通・・・8名
良くなかった・・・0名， 未記入・・・4名
- (5) テーマの評価 (2会場合計)
良かった・・・48名
普通・・・6名
良くなかった・・・0名， 未記入・・・4名
- (6) 開催時期 (2会場合計)
良かった・・・51名
良くなかった・・・1名， 未記入・・・6名
- (7) 講義回数 (2会場合計)
良かった・・・45名
多すぎた・・・2名
少なすぎた・・・2名， 未記入・・・14名
- (8) 自由意見 (一部抜粋)
- ・ これからの時代 (コロナ禍) 少しでも食生活をバランス良く摂取するように心がけようと思いました
 - ・ 奄美の地産地消から見て、現在の食生活に適しているのか、先の展望について、もう少し詳しく聞きたい。
 - ・ 食と健康の関係は一般に分かっているが、詳しくは分からない人が多い。このような講演 (講座) を開催することをうれしく思う
 - ・ 今回、お陰様でコロナ対策も十分にとっていただき、久しぶりに講義を受けることができた。充実した時間でした。1年に1回は、是非にと思いました。よろしくお祈りします。
 - ・ 二人の講師が、ともに熱心に講義いただき感謝いたします
 - ・ コロナでいろいろなことが中止となっているため、待ちこがれていた
 - ・ 今後とも島にもいろいろな分野の講義に来てください
 - ・ 両講座とも、わかりやすく、おもしろかった
 - ・ 社会人になって学ぶ機会があるのは有り難い事です
 - ・ とてもわかりやすいお話でした。ありがとうございました
- (9) 希望するテーマ (一部抜粋)
- ・ 食品添加物について (2名)
 - ・ 奄美の食材と健康の関係
 - ・ 奄美の食材の素晴らしさ。住環境の工夫など
 - ・ 介護に関すること、認知症等、超高齢化社

会に向けて

- ・ 観光，農業，漁業
- ・ 教育，保育関係

鹿児島県立短期大学
奄美サテライト講座2020

知と生きる

鹿児島県立短期大学
奄美サテライト講座2020

奄美会場
9月5日 (土)

鹿児島県立短期大学
奄美サテライト講座2020

1 10時～13時10分 (13時10分～15時)
2 15時10分～16時40分 (16時40分～18時10分)

「奄美の地産地消から見て、現在の食生活に適しているのか、先の展望について、もう少し詳しく聞きたい。」

瀬戸内会場
9月6日 (日)

鹿児島県立短期大学
奄美サテライト講座2020

1 13時～14時30分
2 14時40分～16時10分

「食と健康の関係は一般に分かっているが、詳しくは分からない人が多い。このような講演 (講座) を開催することをうれしく思う。」

「知」の最前線をあなたに

7年目を迎える県立短大の奄美サテライト講座
今年は再び、奄美市と瀬戸内町で開催
最長の講師陣がおくる「知」の最前線をあなたに

チラシ裏面の申込み用紙によりFAXにて、どなたでも事前申込みができます。

定員：各講座60名 受講料：無料

主催：鹿児島県立短期大学 後援：奄美市教育委員会／瀬戸内町教育委員会
お問い合わせ：鹿児島県立短期大学 総務課 ☎099-220-1111 ✉kentansm@pref.kagoshima.lg.jp © www.k-kentan.ac.jp

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や手洗い等に協力ください。お祈りします。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講義が中止される場合がありますので、問い合わせ先に確認をお願いします。

当初作成のポスター

2020年度 伊敷公民館講座
文学科 小林 朋子

2020年度伊敷公民館講座「シニア生き生き大学」は、本学の文学科、生活科学科、商経学科の教員により、10月14日から11月25日まで、4回にわたり実施された。

当初は、10月上旬から7回にわたり毎週水曜日に実施される予定であったが、7月に伊敷公民館より新型コロナウイルス感染症防止策の申し入れがあり、半数の定員と隔週での開催が決まった。定員を減員し、受講決定数が22名になったものの、4回の講座で延べ73名の受講者に講座を提供することができた。受講者のアンケートには、「普段の生活の中では素通りしてしまうことに気付かされた」、「日常生活に密着した講義で興味深く面白かった」、「本日の講座も『目から鱗』的な内容でとても楽しく拝聴することでした」、「丁寧な説明で分かり易かったです。プレゼンも見やすく理解しやすかったです」などあり、4回の講座はいずれも大変好評であった。

以下では、各回の担当者とテーマ、講座の概要および講師陣のコメントを掲載する。

◇各講座の担当者とテーマ

回	実施日	担当者(所属)	テーマ
1	10/14	遠峯伸一郎(文学科)	英語を通して見る日本
2	10/28	山本 敬生(商経学科)	偉大な発明としての選挙
3	11/11	田口 康明(商経学科)	学校と感染症
4	11/25	上笹貫鷹暁(生活科学科)	デザインってなんだろう？

第1回 遠峯 伸一郎

【概要】

NHK放送文化研究所の「日本人の意識」調査によれば、日本人の自国に対する自信は近年上昇傾向にあり過去最高水準に達しているという。そんな日本を海外はどのように見ているのかを紹介するために、日本に関する海外メディア(BBC, CNN等)の報道を紹介した。

【コメント】

英文記事を取り上げたので受講者に負担になるのではと講座前は気がかりであったが、受講者の方々からは、講座の内容に刺激を受けた、外国語に触れたこと自体が新鮮であった、などのコメントをいただいた。担当者として嬉しく思った。

第2回 山本 敬生

【概要】

選挙は、民主主義、法治国家の実現のためには必要不可欠な制度である。選挙には民主主義的正統性付与機能のみならず、政治家の独裁者化防止機能、人間性向上機能がある。ルドルフ・フォン・イエーリングは、「誰もが社会の利益のために権利を主張すべき生まれながらの戦士なのだ」と主張している。選挙は人類の偉大な発明であり、棄権は民主主義の危機である。

【コメント】

「一票の重みを感じた」、「選挙に行かなければいけないと言う思いになった」等の感想を受講生から頂いた。ひとりでも多くの方が選挙の重要性をより深く理解してくれれば幸いである。

第3回 田口 康明

【概要】

コロンブス以来の世界史を動かした感染症、特に戦争と感染症の流行は密接な関係にあることから始めた。日本の近代史でも戦争による感染症の国内流行があったことを紹介した。さらに学校閉鎖は戦時下の半年間行われたが、形式的には小学校は閉鎖されず今回の措置は、明治の「学制」以来、初めてのことであったことや、現在に学校内での対応状況について話した。

【コメント】

概ね、関心が高かったが、受講生が学校での集団予防接種によって「社会的な障壁」となってきた世代であったので、予防接種への関心も高かった。

第4回 上笹貫 鷹暁

【概要】

「デザイン」が広義な言葉故に、デザインという行為とデザイナーに対する偏ったイメージ、

誤った認識が多い。現代では様々な分野の「デザイン」が存在するが、今回は「グラフィックデザイン」の観点から実例を基に「アートとの違い」、「歴史」、「制作過程」など、様々な切り口から「デザインとは何か」を考える。

【コメント】

受講者の方々の学ぶ意欲の高さに、刺激を受けた貴重な時間となりました。特に配色に関する話題は、講座中のリアクションや頂いたご感想を見ても関心が高かったように思います。

伊敷公民館講座のこれまでの実績

年度	開催時期	時間	曜日	演 目	講義回数	参加者数 延べ人数
H18	10/13～ 12/1	10:00～ 12:00	金曜日	①裁判員制度, ②ジェンダー論(女であることは損か得か), ③ジェンダー論(女性の権利は20.5世紀的人権), ④鹿児島県財政について, ⑤⑥ホリエモン・村上ファンド事件とその背景, ⑦市町村合併の功罪	7	173
H19	10/5～ 12/14	10:00～ 12:00	金曜日	・景気とは何か?ーグローバル・規制緩和・安倍政権のゆくえー他9講座	10	272
H20	10/3～ 12/12	10:00～ 12:00	金曜日	・桂庵玄樹, その時代と文化・他8講座	9	223
H21	10/2～ 11/27	09:30～ 11:30	金曜日	・日本語を教えるとは?ー文字・表記の教え方ー他8講座	9	197
H22	10/6～ 12/1	13:30～ 15:30	水曜日	・社会を哲学する・他7講座	8	195
H23	10/5～ 12/7	13:30～ 15:30	水曜日	・旅と古典文学(1)平安時代から鎌倉時代・他7講座	8	166
H24	10/3～ 11/28	13:30～ 15:30	水曜日	・障害者の権利・子どもの権利・他7講座	8	166
H25	10/2～ 11/27	13:30～ 15:30	水曜日	・アートの脳科学・他7講座	8	148
H26	10/1～ 11/19	13:30～ 15:30	水曜日	・ユネスコ無形文化遺産ー和食の魅力・他7講座	8	219
H27	10/14～ 12/2	13:30～ 15:30	水曜日	・中華料理の極致 満漢全席・他7講座	8	232
H28	10/12～ 12/7	13:30～ 15:30	水曜日	①学校における道徳教育, ②小説のなかの詩と映画の中の詩ー「林檎の樹」「サマーストーリー」, ③直筆原稿でよむ日本の小説, ④エジプト・カイロの空間文化, ⑤憲法と基本的人権, ⑥脳の老化を防ぐには?ー科学の視点からみた認知症予防のヒント, ⑦映像から見る日中の感情表現, ⑧身体技法から日常生活を再考するー心地よさの発見	8	253
H29	10/11～ 11/29	13:30～ 15:30	水曜日	①現代企業とマーケティング, ②だしのおいしさー色々なだしを比べてみよう, ③イラン・イスファハンの都市文化, ④ことばの意味を考える, ⑤モノから見える世界ー文化・歴史・経済・産業・人ー, ⑥比較文学の可能性ー日米作家の語りの手法に学ぶー, ⑦生涯発達からみた中高年期の特徴, ⑧ビジネスを語るコトバの世界ー会計学への誘いー	8	162
H30	10/10～ 12/5	13:30～ 15:30	水曜日	①道徳教育は子どもの道徳を向上させるか, ②海の生き物からの宝もの探し, ③映画から学ぶ英詩 英詩から考える映画ーシェイクスピアの詩, ④精神的自由権, ⑤菅原道真と漢詩ー日常生活を読むー, ⑥薩摩郷士の漢詩ー垂邑詩集ー, ⑦AIとIoTとビッグデータの甘い三角関係, ⑧芸術論: 見る視点を変えれば, 世界が変わるー美術作品から見る表現の可能性ー	8	189
R1	10/9～ 11/27	13:30～ 15:30	水曜日	①鹿児島の煎茶と抹茶の多様な世界, ②なぜ異次元の金融緩和は成功しないのか, ③詩から読み解くアメリカ社会の変容, ④衣料品の品質と表示, ⑤大人の学び方ーこれまでの学び方を振り返り, これからの学び方を考えるー, ⑥特効薬を経済学ーくすりを生み出す社会の仕組みどう変わってきたか, ⑦食生活と健康寿命ー少し考えながら食べるー, ⑧20世紀前半の日本語音源を聞く	8	216
計				14	115	2,811

2020 年度プロジェクト研究

<個人プロジェクト>

奄美大島・泥染めによる美術作品の制作 生活科学科 北 一浩

過去数年にわたり自身の制作活動を奄美大島にて行なっている。きっかけは、大島紬の厳しい現状を目の当たりにし、大島紬を産業として再生するのではなく、無形の文化財と捉え後世に残すべきではないか、という思いに至ったためである。そこで重要になるのが、大島紬の特徴でもある、多岐にわたる工程である。(主に、図案・締め・染色・加工・製織)大島紬を残すことはそれらの工程を残すことと同義であり、それぞれの工程における技術を他分野へ転用することにより新たなビジネスを生み出していくと同時に、工程を残すことにつながると考えた。

その一例として染色(泥染め)の美術作品への転用を数年にわたって取り組んできたが、作品自体がある程度カタチになり始めた今年度は、作品の社会への露出に重きを置いた。その結果、無印良品 WEB サイト内の地域の未来を紡ぐ取り組みと人々に焦点をあてた“ローカルニッポン”において取り組みが掲載された。また、イタリアで開催された現代アートのコンペティション“PREMIO COMBAT 2020 PRIZE”においてファイナリストに作品が選出された。これで終わりというわけではなく、継続して制作及び発表を続けていきたい。



事業継承を行う中小企業における管理会計 導入要因の分析 商経学科 宗田健一

『2020 年度版 中小企業白書』によると「生産性の高い企業の廃業の背景には、経営者の高齢化と後継者不足があると考えられ、企業の貴重な経営資源を散逸させない事業承継の取組が重要性を増している」(中小企業庁, 2020, p.168)と指摘されている。このような取り組みとして、事業承継・再編・統合等による新陳代謝の促進の一つとして事業承継支援が含まれている(中小企業庁, 2020)ことから、本研究では、中小企業における事業承継に着目して研究をすすめた。

事業継承を行う中小企業を直接の研究対象として、管理会計がどのように利用されており、どのように新しく管理会計の技法等が導入されているのかという要因を分析するために、2年計画で研究を進めている。

1年目である2020年度は、実際に事業承継したファミリービジネスを営む中小企業経営者へのインタビューによる事例研究を複数行なった。そのうちの1つの調査研究は、次の論文として公表している。

宗田健一・君島美葵子「ファミリービジネスにおける管理会計の導入と実践—老舗中小企業の事業承継を事例として—」『産業経理』第80巻第2号, 63-77頁, 2020年7月。

この論文では、López and Hiébl (2015) が示した管理会計システムの導入へ影響を与える4つの要因を参照しつつ、管理会計技法導入の契機とプロセス、調査時点で実践している具体的な管理会計および実践上の課題の観点から分析・考察した。概要は次のとおりである。

まず、わが国でのファミリービジネス研究を概観し、「事業承継と中小企業管理会計」に関わる先行研究を検討した。次に、鹿児島県の中小企業である下園薩男商店における管理会計技法の導入と活用の事例を詳述した。そして、López and Hiébl (2015) が示した管理会計システム導入の4要因を用いて、下園薩男商店の管理会計技法導入の要因と具体的な管理会計技法を分析した。最後に研究の結論と今後の課題を述べた。

2年目である2021年度は、他の事例研究を進めることを通じて、事業継承を行う中小企業における管理会計導入要因の分析について、考察を深めたいと考えている。

鹿児島県立短期大学教員 研究・社会活動報告一覧
2020年1月～2020年12月

塩地 洋 学長
著書

1. 塩地洋, 田中彰共編著『東アジア優位産業—多元化する国際生産ネットワーク』, 中央経済社, (太田原準他15名), 2020年3月, 284総頁, 担当箇所:「おわりに」pp. 263-265.
2. 前田啓一, 塩地洋, 上田曜子共編著『ASEANにおける日系企業のダイナミクス』, 晃洋書房, (坂田幹男他9名), 2020年10月, 252総頁, 担当箇所: 序章「ASEAN日系企業のダイナミクスを考える 2 本書の問題意識—自動車産業政策の類型から見たASEAN各国の特徴—」pp. 6-10. 第2章「ASEAN統合の進展と日系自動車企業の生産拠点再編」pp. 39-57.

学会活動

産業学会 会長, 2018年6月～2020年6月
International Federation of East Asian Management Associations, President (東アジア経営学会国際連合 会長), 2019年6月～2022年5月
産業学会, 1981年～
経営史学会, 1982年～
中国経済経営学会, 1990年～
商業学会, 1991年～
GERPISA, 2004年～
アジア経営学会, 2004年～
経営学会, 2005年～
多国籍企業学会, 2010年～
国際ビジネス研究学会, 2011年～
太平洋諸島学会, 2017年～
流通学会, 2018年～
Business History Conference, 2019年～

社会還元

1. 講師
「電気自動車比率世界一ノルウェーの国家戦略—電気自動車生産台数世界一中国との比較—」, 京都大学経済学部同窓会東京支部経済交流会, 於: 学士会館, 2020年1月
2. 講師
「太平洋島嶼国の放置車両問題をいかに解決するか」, 鹿児島商工会議所 製造・整備・エネルギー部会, 於: 鹿児島市, 2020年8月
3. 講師
「南の島の放置車両問題をいかに解決するか」, 出張講義, 於: 伊集院高校, 2020年9月
4. 講師

「鹿児島の食産品をいかに世界に広げるか—その視点とマーケティング手法—」, 鹿児島工業倶楽部 食産業部会, 於: 鹿児島市, 2020年11月

5. 講師
「南の島の放置車両問題をいかに解決するか」, 鹿児島県立短期大学奄美サテライト講座, 於: 奄美市, 瀬戸内町, 2020年11月
6. 講師
「かごしまフォーラムが開く未来」, かごしまフォーラム, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年11月

社会活動

1. 2006年4月～2020年3月, 日本自動車販売協会連合会自動車流通検討会議 議長
2. 2012年4月～現在, 日本自動車部品工業会 特別会員
3. 2013年4月～現在, 経済産業省自動車取引適正化研究会 委員
4. 2020年11月～現在, かごしまフォーラム 理事長

文学科

日本語日本文学専攻

木戸 裕子 教授

学会活動

和漢比較文学会, 1986年5月～現在, 和漢比較文学会常任理事, 2011年10月～現在, 和漢比較文学会西部例会委員会副委員長, 2015年10月～現在
中古文学会, 1986年5月～現在
西日本国語国文学, 1988年9月～現在
東アジア比較文化会議, 2002年9月～現在
説話文学会, 2005年6月～現在

社会還元

1. 講師
「紫式部日記を読む」, 金曜会 (読書会講師), 於: 鹿児島青年会館艸舎, 2019年9月～現在
2. 講師
「遣唐使の記憶と平安物語—平安人の異文化との遭遇—」, 鹿児島県立短期大学公開講座, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年10月17日

社会活動

1. 2013年11月～2015年10月 鹿児島市文化財審議会委員
2. 2015年11月～2017年10月 鹿児島市文化財審議会委員
3. 2017年11月～2019年10月 鹿児島市文化財審議会委員
4. 2019年11月～2021年10月 鹿児島市文化財審議会委員

竹本 寛秋 准教授

学術論文

1. 「インターネット」と「詩」を振り返る」, 単著, 『日本現代詩歌研究』, 第14号, 2020年3月, pp. 27-44.
2. 「山村暮鳥「荘厳なる苦悩者の頌栄」—「説教」と「詩」と—」, 単著, 『雲』, 第25号, 2020年9月, pp. 4-19.

その他出版物(書評)

1. 「坂元昌樹著『〈文学史〉の哲学 日本浪漫派の思想と方法』」, 単著, 『近代文学論集』, 第45号, 2020年3月, p. 95-99.

その他出版物(雑誌寄稿)

1. 「山村暮鳥「荘厳なる苦悩者の頌栄」—特集 神への問い—」, 単著, 『詩と思想』, 第398号, 2020年9月, p. 38-39.

学会発表(口頭)

1. 「詩の書き方は教えられるか—詩創作指導の実践とその歴史から—」, パネリスト(竹本寛秋, 児玉忠, 後藤和彦), 第139回全国大学国語教育学会秋季大会, オンライン開催, 2020年11月1日

その他(研究助成)

1. 「雑誌『小天地』(金尾文淵堂発行)の基礎的研究—明治期大阪文芸メディアの戦略分析—」科学研究補助金, 基盤研究C(研究分担者), 2019～2022年度

学会活動

北大国語国文学会, 1996年4月～, 北大国語国文学会 評議員
 日本近代文学会, 1996年4月～, 日本近代文学会九州支部 運営委員
 日本文学協会, 1996年4月～, 日本文学協会 運営委員
 日本比較文学会, 2009年4月～
 昭和文学会, 1996年4月～
 暮鳥会, 2007年4月～

社会還元

1. 講師
「食をめぐる文化的背景と鹿児島県の産業と

食」, 教員免許状更新講習, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月5日

2. 講師
「石川啄木『一握の砂』」, 鹿児島読書サークル, 於: 鹿児島市教育総合センター, 2020年8月21日
3. 講師
「日本の近代文学に記された異文化」, 鹿児島県立短期大学公開講座, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年10月3日
4. 講師
「リービ英雄『日本語を書く部屋』」, 鹿児島読書サークル, 於: 鹿児島市教育総合センター, 2020年10月9日
5. 講師
「一歩進んだ小説の読み方」, 合同進学ガイダンス(大学地域コンソーシアム鹿児島: オンライン開催), 2020年12月5日
6. 講師
「リービ英雄『日本語を書く部屋』」, 鹿児島読書サークル, 於: 鹿児島市教育総合センター, 2020年12月11日

社会活動

1. 鹿児島県高等学校文化連盟弁論大会審査員長(鹿児島松陽高等学校)

土肥 克己 教授

社会還元

1. 講師
「中華料理の極致 満漢全席」, 教員免許更新講習, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月5日

楊 虹 教授

学会発表

1. 「SNSによる文字チャットの会話における感動詞の日中対照」, 単独, 第44回社会言語科学会, 於: 同志社大学(オンライン), 2020年3月5-7日
2. 「意見文に使用されるモダリティ表現の日中対照研究」, 共同(○大野早苗, 楊虹), 第48回中国語話者のための日本語教育研究会, オンライン, 2020年11月14日
3. 「LINEチャットの会話における感動詞の分析—日本語母語場面と日韓接触場面の比較を通して—」, 共同(○楊虹, 倉田芳弥), 第23回日本語用論学会, オンライン, 2020年11月28日
4. 「日中・日韓接触場面のSNSチャット会話の比較—送信の頻度と量、メッセージの構成に

注目して」, 共同 (○楊虹, 倉田芳弥), NINJAL 国際シンポジウム「第11回日本語実用言語学国際会議 (ICPLJ11)」, オンライン, 2020年12月20日

学会活動

社会言語科学, 査読協力

言語文化と日本語教育, 査読協力

社会還元

1. 講師

「言葉からみる日本人と中国人の『?』なコミュニケーション行動」, 鹿児島県立短期大学公開講座, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年9月19日

2. 講師

「中国語に親しもう」, 出張講義, 於: 玉龍高校, 2020年11月12日

英語英文学専攻

石井 英里子 准教授

学術論文

1. 「注視されたWebページのテキストをリアルタイムで取得するシステムの開発」, 共著, (大友隆秀, 望月信哉, 石井英里子, 星野祐子, 山田光穂), パーソナルコンピュータ利用技術学会論文誌, 14(1), 2020, pp. 36-42.

学会発表 (口頭)

1. 「Gathering Image Data from SNS and Training Machine Learning Models for Image Classification」, 共同, (○Yuko Hoshino, ○Eriko Ishii, Yuta Nakamura, Takahide Otomo and Mitsuho Yamada, IMQA2020, March 13, 2020.
2. 「BT.2020 に準拠した画像のもたらす癒やし効果」, 共同, (○谷村龍一, 高柳和之, 篠原未歩, 石井英里子, 星野祐子, 山田光穂), 第15回パーソナルコンピュータ利用技術学会全国大会 (第39回パソコン利用技術研究集会), 2020年12月19日.

学会発表 (ポスター)

1. 「Development of Interaction System for Supporting WEB Browsing Using User's Gaze」, 共同, (○Takahide Otomo, ○Shinya Mochiduki, ○Eriko Ishii, ○Yuko Hoshino and Mitsuho Yamada, IMQA2020, March 13, 2020.
2. 「International Posture and Personality

Traits of Engineering Students' in an EFL Setting」, 共同, (○Mayu Kashimura, ○Eriko Ishii), Asia TEFL International Conference 2020, KINTEX Convention Center Goyang, South Korea, November 27-29, 2020.

学会活動

TESOL International Association, 2008年3月～

多文化関係学会, 2010年4月～ 査読委員 (2017年6月～)

全国英語教育学会, 2018年9月～

九州英語教育学会, 2018年9月～

メディア外国語教育学会 (LET), 2018年9月～

大学英語教育学会, 2018年9月～

社会還元

1. 講師

「言語と文化のサイエンス—異文化コミュニケーション研究への誘い—」, 出張講義, 於: 鹿児島県立出水高等学校, 2020年1月17日

2. 講師

「学習支援システムEdmodoを使った授業実践報告」, FD講演会, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月7日

3. 講師

「アクティブラーニングで学ぶ異文化コミュニケーション」, 出張講義, 於: 鹿児島県立大川高等学校, 2020年10月30日

ガルシア・アヨロ ホルヘ 講師

学会活動

日本アメリカ文学会, 2015年～, 会員

メルヴィルソサエティ, 2015年～, 会員

社会還元

1. 講師

「欧州で天正外交使節団と慶長外交使節団の歴史的な例を通じた異文化の理解」, 鹿児島県立短期大学公開講座 (『異文化理解のために文学・言語・歴史』), 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年9月12日

小林 朋子 准教授

学会活動

日本アメリカ文学会, 2006年～, 会員

日本英文学会, 2006年～, 会員

鹿児島英語英文学会, 2006年～, 会員

多民族研究学会, 2011年～, 会員 (2019年8月～大会運営委員)

原爆文学研究会, 2019年~, 会員

社会還元

1. 講師
「トニ・モリスン『青い眼がほしい』」, 金曜会, 2020年3月13日
2. 講師
「世界文学への招待」, ミニ講義: 国分中央高校, 於: 鹿児島県立短大視聴覚室, 2020年8月17日
3. 講師
「向田邦子追悼朗読会」, 文学サロンきりしまの舟, 2020年8月22日
4. 講師
「トニ・モリスン『青い眼がほしい』から読み解く「他者」の起源」, 令和2年度鹿児島県立短期大学公開講座, 2020年10月24日

土持 かおり 助教

研究ノート

1. 「外国語(英語)コア・カリキュラム」をふまえた英語科教育法の授業実践」, 単著, 『鹿児島県立短期大学紀要 人文・社会科学篇』, 第71号, 2020年12月 pp. 53-65.

学会活動

大学英語教育学会 (JACET) 九州・沖縄支部研究企画委員, 2014年4月~
大学英語教育学会 (JACET) 会員, 1984年9月~
外国語教育メディア学会 (LET) 会員, 1984年6月~
九州英語教育学会, 2002年6月~

遠峯 伸一郎 教授

学術論文

1. 「初期近代英語におけるラテン語借用語の受容について—convinceとpersuadeの補部に焦点を当てて—」, 単著, 『立正大学大学院年報 (文学研究科)』, 第37号, 2020年3月, pp. 41-56.

学会発表 (口頭)

1. 「近代英語における借用語動詞の受容について —persuadeに焦点を当てて—」, 単独, 第38回日本英語学会大会, オンライン開催, 2020年11月7日

学会活動

日本英語学会, 1995年~, 会員
近代英語協会, 1997年~, 会員; 2018年4月~, 編集委員

社会還元

1. 講師

『『グローバル化』と英語—英語を使って何をするのか?』, 鹿児島県立短期大学公開講座 (『異文化理解のために文学・言語・歴史』), 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年9月26日

2. 講師

「英語を通して見る日本」, 生き生きシニア大学 (鹿児島市伊敷公民館主催), 於: 伊敷公民館, 2020年10月14日

轟 義昭 教授

社会還元

1. 講師

「大衆文化のなかで生き続けるアーサー王伝説」, 公開講座, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年10月10日

生活科学科

食物栄養専攻

有村 恵美 助教

学術論文

1. 「メンタルヘルスクエアに資する栄養学的観点」, 共著, (○堀内正久, 沖田信夫, 牛飼美晴, 有村恵美, 小牧祐雅), 『産業医学レビュー』, 32(3), 2020年1月, pp181-190.
2. 「手洗い教育ツールを利用した栄養士養成校の学生における教育方法の有用性」, 共著, (○中熊美和, 木下朋美, 有村恵美), 『食生活研究』, 40(3), 2020年3月, pp172-182.

その他出版物

1. 「Associations of education with overall diet quality are explained by different food groups in middle-aged and old Japanese women」, 共著, (○Ayumi Hashimoto, Kentaro Murakami, Satomi Kobayashi, Hitomi Suga, Satoshi Sasaki, Three-generation Study of Women on Diets and Health Study Group), *Jepidemiol*, doi: 10.2188/jea.JE20200030

学会発表

1. 「食塩摂取状況アンケートおよび食塩味覚感受性評価の報告~鹿児島市CKD啓発イベント参加者を対象として~」, 共同, (○有村恵美, 大山律子, 町田美由紀, 日高宏美, 阿部正治, 中熊美和, 堀内正久), 第23回日本病態栄養学会年次学術集会, 於: 京都国際会館, 2020年1月24日, 第23回日本病態栄養学会年

- 次学術集会プログラム・講演抄録集, p51.
2. 「外来腹膜透析患者におけるソルセイブ検査と食事頻度調査の関連について」, 共同, (○尾込いずみ, 中熊美和, 大久保由梨, 吉田百合奈, 松本秀一朗, 益満美香, 東園美千代, 萩原隆二, 高田昌実, 有村恵美), 第23回日本病態栄養学会年次学術集会, 於: 京都国際会館, 2020年1月24日, 第23回日本病態栄養学会年次学術集会プログラム・講演抄録集, p52.
 3. 「外来腹膜透析患者における食塩味覚閾値と栄養関連因子との検討」, 共同, (○有村恵美, 尾込いずみ, 吉田百合奈, 松本秀一朗, 東園美千代, 大久保由梨, 中熊美和), 第35回日本糖尿病合併症学会第26回日本糖尿病眼学会総, オンデマンド開催, 2020年12月7日～21日, 第35回日本糖尿病合併症学会第26回日本糖尿病眼学会総会プログラム・抄録集, p245.

その他(研究助成等)

1. 研究代表, 科学研究費基盤研究(C)日本学術振興会「鹿児島市CKD予防ネットワークを活用した糖尿病腎症・網膜症栄養関連因子の検討」, 2018年4月～2023年3月
2. 研究分担, 科学研究費基盤研究(C)日本学術振興会「脂肪酸代謝異常病態におけるビタミンB1の果たす役割について」, 2018年4月～2021年3月
3. 共同研究, 日本腎栄養代謝研究会臨床研究「慢性腎臓病患者のたんぱく質制限食が腎機能低下抑制に及ぼす効果についての多施設研究」, 2018年9月～

学会活動

日本病態栄養学会, 2002年6月～, 代議員(2019年4月～), 学術評議員(2020年1月～)
 日本糖尿病・妊娠学会, 2004年12月～
 日本腎臓学会, 2006年9月～
 日本糖尿病学会, 2007年5月～
 日本衛生学会, 2009年12月～
 日本糖尿病性腎症研究会, 2009年12月～
 日本CKDチーム医療研究会, 2010年10月～, 幹事(2011年10月～)
 日本糖尿病合併症学会, 2012年9月～
 日本産業衛生学会, 2014年12月～
 日本腎栄養代謝研究会, 2015年7月～, 幹事(2017年7月～)

社会還元

1. 座長(口頭発表)
 第23回日本病態栄養学会年次学術集会, 於: 国立京都国際会館, 「骨代謝」, 2020年1月24日

2. 指導者
 栄養食事指導, 於: 上ノ町・加治屋クリニック, 2020年1～12月
3. 講師
 「リンコントロール」, 鹿児島ブロック: 鹿児島市腎友会合同医療講演会, 於: ハートピアかごしま, 2020年2月9日
4. 講師
 「生キャラメルとチーズの加工食品製造と衛生管理」, 鹿児島大学獣医学部交流授業, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年2月22日
5. 講師
 「栄養管理」, 2020年度栄養教諭ステップアップ研修(5年経験者研修), 於: 鹿児島県総合教育センター, 2020年7月3日
6. 審査委員
 第17回森のごちそうコンクール審査員(鹿児島県, 鹿児島県竹産業振興会連合会, 鹿児島県椎茸農業協同組合)(書類審査: 鹿児島県庁)2020年10月2日, (実演審査: 今村ライセンスアカデミー)11月7日
7. 講師
 鹿児島市CKD予防ネットワーク地区別研修会(Web開催), 「CKD食事療法～コロナ時代に即した栄養食事指導～」2020年11月26日
8. 学生ポスター掲示・配布資料支援, 掲示計画協力
 「脱生活習慣病(脂質を減らすポイント・レシピ紹介)」, 於: 鹿児島県庁, 2020年12月

社会活動

1. 2013年7月～, 鹿児島市慢性腎疾患(CKD)予防ネットワーク事業オブザーバー
2. 2013年12月～, 鹿児島市CKD手帳・世界腎臓デーワーキング委員

亀井 勇統 教授

学会活動

日本動物細胞工学会, 2000年4月～現在, 評議員
 日本動物細胞工学会, 2003年4月～現在, 幹事
 日本水産学会会員

社会還元

1. 講師
 「衛生管理」, 2020年度教員免許更新講習「食育の最新情報、食に関する指導ならびに衛生管理の実際」講義4, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月12日
2. 講師
 「医食同源: 食べ物は病気を予防できるの

か?」, 令和2年度 奄美サテライト講座,
於:奄美市AiAi広場, 2020年11月14日

3. 講師

「医食同源:食べ物は病気を予防できるのか?」, 令和2年度 奄美サテライト講座,
於:瀬戸内町郷土館, 2020年11月15日

木下 朋美 助教

学術論文

1. 「手洗い教育ツールを利用した栄養士養成校の学生における教育方法の有用性」, 共著, (○中熊美和, 木下朋美, 有村恵美), 『食生活研究』, 40(3), 2020年3月, pp172-182.

学会活動

日本家政学会, 2000年4月~2003年3月, 2005年4月~現在, 会員

日本食品科学工学会, 2000年4月~2003年3月, 2013年4月~現在, 会員

日本調理科学会, 2002年4月~2003年3月, 2013年9月~現在, 会員

日本調理科学会2019年度大会実行委員会 委員

日本茶業学会, 2002年4月~現在, 会員

鹿児島県茶業技術協会, 2005年4月~現在, 会員

日本官能評価学会, 2006年4月~現在, 会員

茶学術研究会, 2006年4月~現在, 会員

社会還元

1. 講師

「かごしま お茶×料理」, かごつまふるさと屋台村主催村民会議, 於:南国センタービル, 2020年2月12日

2. 講師

「お茶を知ろう!お茶入りドライカレー作り」, かごしま環境未来館主催学習講座, 於:かごしま環境未来館, 2020年6月20日

3. 講師

「食のスペシャリストになろう」, 出張講義, 於:鹿児島県立国分高校, 2020年8月19日

4. 講師

「かごしま茶勉強会」, 南九州ファミリーマート主催, 於:附属図書館視聴覚室, 2020年11月11日

5. TV出演

「かごしま茶いっぺ お家で愉しむリーフ茶の世界」KTS, 2020年5月30日

社会活動

1. 2005年4月~現在, NP0現代喫茶人の会, 理事

2. 2013年4月~現在, お茶料理研究会, 世話人

3. 2016年10月~現在, 鹿児島県茶業会議所, かごしま茶販路拡大対策等活動助成

4. 2017年6月~現在, かごしま黒茶研究会, 会員

5. 2019年1月~現在, 鹿児島市農業振興協議会, 委員

6. 2019年9月~現在, 日本茶AWARD二次審査員

7. 2019年9月~現在, 産学連携による「黒酢プロジェクト」への参加

8. 2020年6月~現在, 鹿児島県茶生産協会, 茶業経営向上活動事業

9. 2020年2月~県立短期大学70周年記念事業スイーツ・お茶商品開発指導

多田 司 准教授

学術論文

1. 「肥育後期飼料の甘藷配合量がかごしま黒豚の飼養成績および肉質に及ぼす影響」, 共著 (○大小田勉, 井之上弘樹, 高橋宏敬, 喜田克憲, 多田司, 井尻大地, 大塚彰), 『日本暖地畜産学会報』, 第63巻, 第2号, 2020年9月, pp. 77-86.

学会活動

日本栄養・食糧学会, 1996年4月~, 正会員

日本農芸化学会, 1998年4月~, 正会員

社会還元

1. 講師

「食育の最新情報」, 2020年度教員免許更新講習「食育の最新情報、食に関する指導ならびに衛生管理の実際」講義1, 於:鹿児島県立短期大学, 2020年8月12日

2. 講師

「メリット、デメリットを知ろう!食品添加物」, 令和2年度かごしま環境未来館学習講座, 於:かごしま環境未来館, 2020年10月20日

中熊 美和 助教

学術論文

1. 「手洗い教育ツールを使用した栄養士養成校の学生における手洗い教育方法の有用性」, 共著 (○中熊美和, 木下朋美, 有村恵美), 『食生活研究誌』, 40巻, 3号, 2020年3月, p172-182.

学会発表

1. 「外来腹膜透析患者におけるソルセイブ検査と食事頻度調査の関連について」, 共同, (○尾込いずみ, 中熊美和, 大久保由梨, 吉田百合奈, 松本秀一朗, 益満美香, 東園美千代,

萩原隆二, 高田昌実, 有村恵美), 第23回日本病態栄養学会学術集会, 於: 京都国際会館, 2020年1月24日, 第23回日本病態栄養学会学術集会抄録集, p. 52.

2. 「食塩摂取状況アンケート及び食塩味覚感受性評価の報告～鹿児島市CKD啓発イベント参加者を対象として～」, 共同, (○有村恵美, 大山律子, 町田美由紀, 日高宏美, 阿部正治, 中熊美和, 堀内正久), 第23回日本病態栄養学会学術集会, 於: 京都国際会館, 2020年1月24日, 第23回日本病態栄養学会学術集会抄録集, p. 51.
3. 「外来腹膜透析患者における食塩味覚閾値判定濾紙検査法とFFQ g との検討」, 共同, (○永野(中熊)美和, 大久保由梨, 東園美千代), 第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 於: 京都国際会館, 2020年2月27日, 第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会抄録集, p. 76.
4. 「外来腹膜透析患者における食塩味覚閾値と栄養関連因子との検討」, 共同, (○有村恵美, 尾込いずみ, 吉田百合奈, 松本秀一朗, 東園美千代, 大久保由梨, 中熊美和), 第35回日本糖尿病合併症学会第26回日本糖尿病眼学会総, オンデマンド開催, 2020年12月7日～21日, 第35回日本糖尿病合併症学会第26回日本糖尿病眼学会総会プログラム・抄録集, p245.

学会活動

日本病態栄養学会, 2012～
日本臨床栄養代謝学会(旧 日本静脈経腸栄養学会), 2014～
日本スポーツ栄養学会, 2016～2020
日本腹膜透析学会, 2018～
日本透析医学会, 2019～
美味技術学会, 2020～

社会還元

1. 講師
「食事調査」, 鹿児島国際大学 地域連携企画, 於: 鹿児島国際大学, 2020年7月6日
2. 講師
「栄養学入門」, 鹿児島国際大学 地域連携企画, 於: 鹿児島県農業大学校, 2020年9月26日

社会活動

1. 2015年10月～, 玉昌会 高田病院 給食管理・栄養管理アドバイザー
2. 2016年4月～, 内閣府食品安全モニター
3. 2018年6月～2020年3月, 鹿児島市食品衛生懇談会

古川 那由太 助教

学術論文

1. 「Structural analysis of keratinolysis-related enzymes from *Arthroderma vanbreuseghemii*」共著 (Nayuta FURUKAWA*, Kosuke WATANABE, Ai KAZAMA, Takamichi EBINA, Ryohei YAMAGUCHI, Yusuke NOZAWA, and Akiko SHIMIZU-IBUKA) 『Photon Factory Activity Report 2019』, vol. 37, 2020年.

学会活動

日本生化学会 2012年6月～
日本農芸化学会 2012年11月～

町田 和恵 教授

社会還元

1. 講師
「食に関する指導の実際」, 教員免許更新講習 鹿児島大学, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月12日
2. 講師
「食事摂取基準(2020年版)に基づいた保育所・幼稚園等での栄養管理について」, 給食施設従事者研修会, 鹿児島市保健所, 於: 鹿児島市自治会館, 2020年9月9日→コロナ禍のため録画配信へ変更

社会活動

1. 2015年4月～, 公益財団法人かごしま環境未来財団評議員

山下 三香子 准教授

学術論文

1. 「食生活改善推進運動の展開と現代的意義」, 単著, 『鹿児島県立短期大学 研究年報』, 第51号(2019), 2020年3月, pp. 35-48.

その他の出版物

1. 「Associations of education with overall diet quality are explained by different food groups in middle-aged and old Japanese women」, 共著, (○Ayumi Hashimoto, Kentaro Murakami, Satomi Kobayashi, Hitomi Suga, Satoshi Sasaki, Three-generation Study of Women on Diets and Health Study Group), J epidemiol, doi: 10.2188/jea.JE20200030

学会発表(口頭)

1. 「指宿市における食生活の実態」, 共同, (○石森国秀・永田樹矢, 山下三香子, 石崎由美子), 第46回地方研究集会, 於: 指宿市, 2019年2月9日, 鹿児島農村医学研究会雑誌第

50号, pp. 28-29.

学会発表 (ポスター)

1. 「在宅医療・介護の栄養管理従事者を対象とした教育内容の検討について」, 共同, (松井幾子, 渡邊静, 山下三香子), 日本公衆衛生学会, 於: 京都, 2020年10月20~22日, 第79回日本公衆衛生学会総会抄録集, p. 391.

その他 (研究協力, 研究助成等)

1. 垂水元気プロジェクト調査チーム, 2017年~
2. 『在宅医療・介護ケアにおける管理栄養士・栄養士教育について』, 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 分担者, 2018年~

学会活動

日本社会福祉学会, 2007年 4月~
日本栄養改善学会, 2008年 4月~
日本保健福祉学会, 2008年 4月~
鹿児島農村医学研究会, 2012年4月~
日本給食経営管理学会, 2012年9月~
日本調理科学会, 2013年 8月~
日本食育学会, 2014年 4月~
日本老年社会科学会, 2016年 6月~
日本公衆衛生学会2019年~

社会還元

1. 講師
「生キャラメルとチーズの加工食品製造と衛生管理」, 鹿児島大学獣医学部交流授業, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年2月22日
2. TV出演
ニューズナウ「自由研究」, 南日本放送, 2020年8月18日放映
3. 新聞掲載
「黒酢で味も栄養も」, 南日本新聞, 13面, 2020年11月6日
4. 学生支援
「脱生活習慣病 (脂質を減らすポイント・レシピ紹介)」, 学生ポスター掲示・配布資料支援, 掲示計画協力, 於: 鹿児島県庁, 2020年12月

社会活動

1. 2012年 4月~, 鹿児島農村医学研究会, 調査研究委員会幹事
2. 2019年 9月~, 産学連携による「黒酢プロジェクト」への参加
3. 2019年10月~, 日本給食経営管理学会, 評議委員

生活科学専攻

浅海 真弓 助教

学術論文

1. 「綿, 絹および羊毛織物の色柄模様の視覚的特徴と機械学習による繊維素材の判別」, 共著 (○森俊夫, 浅海真弓), 『繊維製品消費科学』, 第61巻, 第8号, 2020年8月, pp. 616-623.
2. 「Visual Features and Classification Based on Machine Learning for Yukatas, Aloha Shirts and Kariyushi Shirts」, 共著 (○Toshio MORI, Koharu NAGAHAMA and Mayumi ASANOMI), 『Journal of Home Economics of Japan』, Vol. 71, No. 11, November 2020, pp. 703-710.

学会発表

1. 「浴衣, アロハシャツ, かりゆしウェアの視覚的特徴と機械学習による分類判断」, 共同 (○浅海真弓, 長浜小春, 森俊夫), 日本家政学会第72回大会, 於: 高崎健康福祉大学 (紙上開催), 2020年5月31日, 日本家政学会第72回大会研究発表要旨集, p. 116.
2. 「綿, 絹および羊毛織物の色柄模様の視覚的特徴—機械学習による繊維素材の判別—」, 共同 (○浅海真弓, 森俊夫), 日本繊維製品消費科学会2020年年次大会, 於: 武庫川女子大学 (紙上開催), 2020年6月20日, 日本繊維製品消費科学会2020年年次大会・研究発表要旨, p. 18.
3. 「機械学習による耐光堅ろう度の等級判定」, 共同 (○森俊夫, 赤沼唯, 神宮茉莉, 浅海真弓, 岩井美樹, 東竜典), 日本繊維製品消費科学会2020年年次大会, 於: 武庫川女子大学 (紙上開催), 2020年6月21日, 日本繊維製品消費科学会2020年年次大会・研究発表要旨, p. 115.

学会活動

日本衣服学会, 2003年6月~
日本繊維製品消費科学会, 2004年2月~
日本家政学会, 2004年6月~
日本色彩学会, 2005年7月~
日本家政学会被服材料学部会幹事, 2017年5月~
日本家政学会第48回被服材料学部会夏季セミナー実行委員, 2020年1月~
日本家政学会第74回大会実行委員, 2020年10月~

井余田 秀美 教授

学術論文

1. Equilibrium thickness of foam films and adsorption of ions at surfaces: Water and aqueous solutions of sodium chloride, hydrochloric acid, and sodium hydroxide, Hidemi IYOTA, Rumen KRASSTEV, J. Colloid Interface Sci., 405-415, 565 (2020)

学会活動

日本化学会, 1978年4月～

日本化学会コロイド部会, 1978年4月～

International Association of Colloid and Interface Scientists, 1989年4月～

上笹貫 鷹暁 助教

社会還元

1. 講師

「デザインってなんだろう?」, 伊敷公民館講座「生き生きシニア大学」第4回, 於: 伊敷公民館, 2020年11月25日

受賞

1. Rethink Creative Contest 優秀賞, 「※映画ではありません」, 2020年12月15日, デザイン

川島 茂 教授

学会活動

日本建築学会

日本建築家協会

社会還元

1. 学生作品展示支援, 展示計画
ちいさないえのけんちく展/鹿児島県立短期大学 (6坪ギャラリー), 2019年12月24日～2020年1月30日
2. 学生作品展示支援, 展示計画協力
「生活科学専攻卒業研究作品展2020」(学内展), 2018年2月3日～7日
3. 講師
「自作について」, 東京都立蔵前工業高校講演会, 2020年2月27日
4. 学生作品展示支援, 展示計画協力
「鹿児島建築学生合同設計展 Kagoshima Design Project 2020 ちとせ」(ドルフィンポート), 2020年2月15日～16日
5. 学生作品展示支援, 展示計画協力
「生活科学専攻卒業研究作品展2018」, 於: マルヤガーデンズアートギャラリー, 2020年2月28日～3月6日

6. 企画開催

日本建築家協会鹿児島支部 鹿児島県立短期大学生活科学科生活科学専攻空間デザイン研究室卒業制作講評会, 於: マルヤガーデンズアートギャラリー, 2020年3月6日

7. 企画協力

一般社団法人民家再生協会かごしま 鹿児島県立短期大学生活科学科生活科学専攻空間デザイン研究室卒業制作講評会, 於: かごしま環境未来館ホール, 2020年3月7日

8. 講師

「建築設計Ⅲ」(設計課題: 鹿児島大学総合研究博物館拡張施設(仮称)の設計), 鹿児島大学工学部建築学科, 2020年4月～5月

9. 審査

「伊仙町町役場新庁舎建築設計公募型プロポーザル審査委員会」, 委員, 2020年7月～11月

10. 学生作品展支援, 展示計画

2020かごしま住まいと建築展, 於: かごしま県民交流センター, 2020年10月17日～18日

11. 出展企画, 支援

JIA建築展, 於: かごしま県民交流センター, 2019卒業制作作品, 2020年10月17日～18日

12. 学生作品展示支援, 展示計画

10人の家展/鹿児島県立短期大学 (6坪ギャラリー), 2020年12月19日～2021年1月14日

13. 講師

「建築を設計すること」, 出張講義, 於: 鹿児島県立東高等学校, 2020年12月19日

社会活動

1. 2020年4月～, 鹿児島市都市計画審議会 委員
北 一浩 准教授

受賞

1. PREMIO COMBAT 2020 PRIZE THE SHORTLISTED ARTISTS IN PAINTING CATEGORY, Untitled, 2019年10月, イタリア

展覧会 (招待展示)

1. PREMIO COMBAT 2020 PRIZE Finalists Exhibition, "Museo Civico Giovanni Fattori ex Granai di Villa Mimbelli" Livorno, Italy, 2020年10月10日～10月30日

デザイン (実務)

1. シューズブランド"Eri Omaru" (鹿児島市) ブランディングデザイン, アートディレクション
2. 原田酒造"OKINERABU SPRITS" (知名町) ラベルデザイン, アートディレクション・デザイン

3. しましま犬猫病院（南九州市）ブランディングデザイン，アートディレクション

収録作品

1. Untitled, 単著, 『Premio Combat 2020 Prize』(sillabe), 2020年10月, pp. 29
2. Mud-dyed big Indian cotton 0028102, 単著, 『研究年報』第51号（鹿児島県立短期大学地域研究所）, 2020年3月, pp. 49
3. Mud-dyed big Indian cotton 0029102, 単著, 『研究年報』第51号（鹿児島県立短期大学地域研究所）, 2020年3月, pp. 50

社会活動

1. 2018年4月～, 鹿児島市クリエイティブ産業育成支援検討委員
2. 2019年11月～, 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会マスコットキャラクターデザイン選考委員

坂上 ちえ子 教授

学会活動

- 日本家政学会, 1990年～
- 日本色彩学会, 1992年～, 評議員, 関西支部役員
- 日本生理人類学会, 1992年～
- 日本教育心理学会, 2005年～

社会還元

1. 講師
「カラーコーディネートの基礎」, ミニ講義, 於: 松陽高校, 2020年8月19日
2. 講師
「カラーコーディネートの基礎」, ミニ講義 (鹿児島女子高校), 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月27日
3. 講師
「カラーコーディネートの基礎」, ミニ講義 (明桜館高校), 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月27日
4. 講師
「カラーコーディネートの基礎」, ミニ講義 (鹿児島東高校), 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年9月14日

社会活動

1. 2019年3月～2021年2月, 鹿児島県伝統工芸品産業振興対策協議会委員
2. 2018年4月～2020年3月, 鹿児島市屋外広告物審議委員会委員
3. 2018年5月～2020年4月, 鹿児島県屋外広告物審議委員会委員

その他

1. 査読依頼・協力, Journal of Fiber Science and Technology.

穴戸 克実 准教授 著書

1. 鈴木董編『中東・オリエント文化事典』, 丸善出版, 共著, 2020年11月, 826総頁, 担当頁: 第13章, 建築, 「商業空間 (広場, 市場, 商館)」pp. 574-575.

その他 (研究助成等)

1. 鹿児島県立短期大学地域研究所, 個人研究プロジェクト「鹿児島県における鉄道廃止後の駅跡地利用に関する基礎的研究」研究代表
2. 上智大学イスラーム研究センター現代中東地域研究「中東的な〈公共〉の多元的展開と社会倫理」社会経済学班, 研究協力
3. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所情報資源利用研究センタープロジェクト「カイロのイスラーム建築データベースの構築」, 研究協力

学会活動

- 日本建築学会
- 地中海学会
- 本中東学会
- 日本トルコ交流協会

田中 真理 准教授 資料

1. 「2019年度教育実習の実態調査結果」, 共著 (○田中真理・田口康明), 『鹿児島県立短期大学地域研究所研究年報』, 第51号, 2020年3月, pp. 17-33.

学会活動

- 日本老年行動科学会, 2006年～
- 日本心理学会, 2007年～
- 日本発達心理学会, 2008年～
- 日本心理臨床学会, 2009年～
- 日本老年行動科学会, 2011年1月～, 常任理事
- 日本老年行動科学会, 2020年1月～, 事例検討委員会委員長

社会還元

1. 講師
「加齢と心」, 令和2年度附属図書館金曜講演会, 於: 鹿児島県立短期大学附属図書館, 2020年11月27日

商経学科
経済専攻

岡田 登 准教授
著書

1. 『野菜産地の変容と生産組織』, 農林統計出版, 単著, 2020年9月, 226総頁.
2. 松井秀郎編著, 『1964年と2020年 くらべて楽しむ地図帳』, 山川出版, 共著, 2020年12月, 232総頁, 担当箇所: pp. 70-73.

学術論文

1. 「野菜生産法人の設立と脱産地化ー鹿児島県指宿市を事例にー」, 単著, 『地域研究』, 第60巻, 第1号, 2020年2月, pp. 18-34.
2. 「野菜生産法人の設立とその存立形態ー埼玉県深谷市を事例にー」, 単著, 『鹿児島県立短期大学地域研究所研究年報』, 第51号, 2020年3月, pp. 1-16.
3. 「農地所有適格法人の分布特性と事業展開」, 単著, 『鹿児島県立短期大学商経論叢』, 第71号, 2020年10月, pp. 1-19.

書評

1. 「農産物・食品の市場と流通 日本農業市場学会編 2019年3月28日発行 筑波書房」, 単著, 『自治研かごしま』, 第125号, 7月号, 2020年7月, pp. 34.

福田 忠弘 教授
著書

1. 多賀秀敏編著, 『平和学から世界を見る』, 成文堂, 単著, 2020年3月, 386総頁, 担当箇所: 第5章「ベトナム戦争と枯葉剤被害ー第三世代まで影響するダイオキシン汚染ー」, pp. 74-87.

その他 (研究助成)

1. 研究代表, 科学研究費基盤研究 (C) 日本学術振興会「戦前期日本人水産業者の外南洋進出と南進論」, 2020年4月～2022年3月

社会還元

1. 講師
「鹿児島の産業と食」, 2020年度教員免許更新講習「食をめぐる文化的背景と鹿児島県の産業と食」講義3, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月5日

船津 潤 准教授
学会活動

日本地方財政学会, 2000年～

日本財政学会, 2000年～

山口 祐司 講師
社会還元

1. 講師
「グローバリゼーションのゆくえー地域経済の衰退は止められるかー」, ミニ講義, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年8月19日
2. 講師
「グローバリゼーションのゆくえ」, 出張講義, 於: 玉龍高校, 2020年11月12日

経営情報専攻

朝日 吉太郎 教授
学術論文

1. 「21世紀における欧州グローバル化分析」, 単著, 『鹿児島県立短期大学紀要 (人文・社会科学篇)』, 2020年12月

学会活動

社会政策学会, 1985年～ 同学会査読専門委員2010～
日本経営学会, 1993年～
労務理論学会, 1993年～

岡村 俊彦 教授
学会活動

日本人間工学会, 1987年4月～
日本生理心理学会, 1988年4月～
日本心理学会, 1989年10月～

社会還元

1. 講師
「インターネットの仕組みとセキュリティ対策」, 「仕事を効率化するパソコンのテクニック」, 中堅教諭等資質向上研修, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年7月29日
2. 講師
「産業心理学入門」, ミニ講義 (屋久島高校) 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年10月14日
3. 講師
「体に表れる心の動き (生理心理学)」, 附属図書館金曜講演会「あなたの隣の心理学」1回目, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年11月6日
4. 講師
「使いやすさと消費者の心理 (産業心理学)」, 附属図書館金曜講演会「あなたの隣の心理

学」2回目、於：鹿児島県立短期大学、2020年11月13日

5. コラム執筆

産業保健の話題「コロナ禍でネットとどう付き合うか?」、鹿児島県医師会報 第831号、2020年9月

社会活動

1. 2003年4月～、鹿児島産業保健総合支援センター 特別相談員
2. 2007年4月～、鹿児島女子高等学校校外評議員
3. 2013年3月～、鹿児島ラ・サール学園評議員

岡村 雄輝 准教授

資料

1. 「鹿児島県内の中小企業における管理会計実践に関する実態調査－かごしま産業支援センター情報会員・登録企業を対象として－」、共著（宗田健一、櫛部幸子、岡村雄輝）、『商経論叢』（鹿児島県立短期大学商経学会）、第71号、2019年10月、pp. 95-132.
2. 「鹿児島県税理士会連合会の税理士を対象とした管理会計導入・活用支援に関する実態調査」、共著（櫛部幸子、宗田健一、岡村雄輝）、『研究年報』（鹿児島県立短期大学地域研究所）、第51号、2020年3月、pp. 51-73.

学会活動

日本簿記学会、2018年8月～
日本記号学会、2017年4月～
日本会計研究学会、2013年9月～
日本会計史学会、2012年10月～
九州経済学会、2009年12月～

社会還元

1. 講師
「会計クイズで学ぶビジネス戦略」、ミニ講義、於：鹿児島県立短期大学、2020年8月19日
2. 講師
「会計クイズで学ぶビジネス戦略」、出前講義、於：鹿児島県立鹿児島東高等学校、2020年12月15日

社会活動

1. 2019年9月～、鹿児島県公衆浴場入浴料金審議会委員

倉重 賢治 教授

学術論文

1. 「Selection of a Tourist Spot using AHP with Fuzzy Numbers」、単著、『International Journal of Japan Society for Production

Management』, Vol. 8, No. 1, 2020年12月, pp. 43-48.

学会活動

日本経営工学会、1993年～
日本機械学会、1994年～
日本生産管理学会、2003年～

社会還元

1. 講師
「ICT技術とプログラミングの基礎」、パワーアップ研修（中堅教諭等資質向上研修）、2020年7月29日

瀬口 毅士 准教授

学会活動

日本経営学会、2006年～
日本比較経営学会、2004年～
日本流通学会、2014年～
多国籍企業学会、2013年～
経営史学会、2014年～

竹中 啓之 准教授

社会活動

1. 2020年6月～2020年12月、鹿児島地方最低賃金審議会 委員
2. 2020年6月～2020年12月、鹿児島地方最低賃金審議会運営小委員会 委員長
3. 2020年6月～2020年12月、鹿児島地方最低賃金審議会県最低賃金部会 部会長代理
4. 2020年6月～2020年12月、鹿児島地方最低賃金審議会鹿児島県自動車（新車）小売業最低賃金専門部会 部会長
5. 2017年6月～2021年6月、公益財団法人鹿児島住宅・建築総合センター評議会 評議委員
6. 2019年7月～2021年3月、始良市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 委員

第二部商経学科

宗田 健一 教授

学術論文

1. 「ファミリービジネスにおける管理会計の導入と実践－老舗中小企業の事業承継を事例として－」、共著（宗田健一・君島美葵子）、『産業経理』第80巻第2号、pp. 63-77、2020年7月

資料

1. 「鹿児島県内の中小企業における管理会計実

践に関する実態調査 ―かごしま産業支援センター情報会員・登録企業を対象として―, 共著, (宗田健一・榎部幸子・岡村雄輝), 『商経論叢』(鹿児島県立短期大学商経学会), 第71号, pp. 95-132, 2020年10月

2. 「鹿児島県税理士会連合会の税理士を対象とした管理会計導入・活用支援に関する実態調査」, 共著 (榎部幸子・宗田健一・岡村雄輝), 『研究年報』(鹿児島県立短期大学地域研究所) 第51号, pp. 51-73, 2020年3月

学会年報

1. 宗田健一他13名「簿記講義法に関する研究―ティーチング・ティップスの作成(簿記教育研究部会:中間報告)」『日本簿記学会年報』(日本簿記学会学会誌編集委員会編) 第35号, pp. 5-6, 2020年8月

その他

1. 宗田健一「日本会計研究学会 第79回全国大会レポート」『会計・監査ジャーナル』第32巻第12号(12月号), pp. 70-77, 2020年12月

学会発表等

1. 「デジタル経済下における簿記・会計」, 共同(宗田健一他4名), 日本簿記学会第36回関西西部会 統一論題討論, 別府大学(オンライン開催), 2020年10月25日
2. 「中小企業における業務記録の電子化が会計管理へ与える影響」, 共同(宗田健一・君島美葵子), 日本簿記学会第36回関西西部会 統一論題報告, 別府大学(オンライン開催), 2020年10月25日
3. 「アフターコロナ禍の中小企業会計」, 共同(宗田健一他3名), 中小企業会計学会第8回全国大会 統一論題討論, 法政大学(オンライン開催), 2020年10月4日
4. 「アフターコロナ禍における中小企業支援と税理士業務」, 単独(宗田健一), 中小企業会計学会第8回全国大会 統一論題報告, 法政大学(オンライン開催), 2020年10月4日

学会活動

日本会計研究学会, 2002年~現在, 会員

国際会計研究学会, 2007年~現在, 会員

日本簿記学会, 2008年~現在, 会員

―簿記理論研究部会, 「簿記講義法に関する研究 ~ティーチング・ティップスの作成~」

(部会長), 2018年8月~2022年8月(予定)

―第36回関西西部会準備委員会委員(2020年10月25日, 別府大学:オンライン開催)

日本会計教育学会, 2009年~現在, 会員

―理事(事務局担当)(2017年~2020年)

―理事(ICT担当)(2020年~現在)

―第12回全国大会 準備委員会委員長(2020年9月10~12日, 鹿児島県立短期大学:オンライン開催)

―スタディ・グループ, 「遠隔授業時代の会計教育」(委員), 2020年9月~2022年9月(予定)

中小企業会計学会, 2013年~現在, 会員

―研究(学会誌)担当幹事(2015年~現在)

―広報(会報・HP)担当幹事(2016年~現在)

―課題研究委員会, 「日本の中小企業会計の基礎概念に関する研究―文化的視座からのアプローチ」(委員), 2019年9月~2022年9月(予定)

日本経済会計学会, 2015年~現在, 会員

日本管理会計学会, 2017年~現在, 会員

日本財務管理学会, 2019年~現在, 会員

社会活動

1. 鹿児島市新規創業者等育成支援検討委員会委員, 2010年4月1日~現在(2016年11月から委員長)
2. 龍谷大学校友会鹿児島支部 理事, 2017年度~現在

その他―競争的資金(学外)

1. 公益財団法人 メルコ学術振興財団研究助成, 研究課題名:「定量・定性調査を用いた中小企業における管理会計実践の解明 ―鹿児島県内企業を対象として」(代表), 助成金交付決定番号:研究2019006号(研究助成A), 補助事業期間:2019年7月1日~2020年6月30日
2. 公益財団法人 メルコ学術振興財団研究助成, 研究課題名:「老舗中小企業の経営資源承継から見た会計管理実務の理論化」(共同), 助成金交付決定番号:研究2020003号(研究助成A), 補助事業期間:2020年7月1日~2022年6月30日

その他―競争的資金(学内)

1. 鹿児島県立短期大学地域研究所, 「事業承継を行なう中小企業における管理会計導入要因の分析」(代表者), 個人プロジェクト, 2020年度~2021年度(予定)
2. 鹿児島県立短期大学地域研究所, 「簿記講義法に関する研究」(代表者), 研究成果公開(学会報告), 2019年度~2020年度
3. 鹿児島県立短期大学地域研究学会(種村特別会員研究寄付金), 「鹿児島の海外進出企業に関する調査研究 ~かつお節製造・加工会社M社のインドネシア工場の事例~」(代表者), 個人研究, 2020年度

野村 俊郎 教授

学術論文

1. 「トヨタ生産方式の基盤「職場力」と知識変換～3本柱活動の概要と分析方法～(上)」, 鹿児島県立短期大学『商経論叢』第71号, 人文・社会科学篇, 31-37頁, 2020年10月
2. 「トヨタ生産方式の基盤「職場力」と知識変換～3本柱活動の概要と分析方法～(中)」, 『鹿児島県立短期大学紀要』, 第71号, 人文・社会科学篇, 31-37頁, 2020年12月

資料

1. “Toyota’s Global Adaptation and labor～TPS Explicit Knowledge in STM Thailand～” Toyota Motor North America (トヨタ自動車の北米統括会社) 研修用文献、日本国際経済学会第9回春季大会 (2019年6月15日、高知県立大学永国寺キャンパス) における野村報告「トヨタのグローバル適応と労働～タイSTMにおけるTPSの形式知化～」のフルペーパーを英訳してToyota Motor North Americaの研修用文献としたもの

社会還元

1. 講師
「AI時代の人間の可能性」, ミニ講義 (屋久島高校), 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年10月12日

社会活動

1. 県短と地域の連携組織「かごしまフォーラム」を発起人の一人として設立。2020年11月27日の設立総会で理事・事務局長に就任

疋田 京子 教授

学会発表 (口頭)

1. 「インドネシアにおける移住労働者送り出し政策と労働者保護をめぐる法制度改革」, 単独, アジア法学会, 2020年度研究大会, 2020年12月20日 (オンライン)

学会活動

アジア法学会 2020年12月～, 理事

社会還元

1. 講師
「グローバル化の中の民法」, 出張講義, 於: 玉龍高校, 2020年11月12日
2. 講師
「もしも世界に法律がなかったら」, ミニ講義, 於: 鹿児島県立短期大学, 2020年10月12日

社会活動

1. 2019年7月～2020年3月, 鹿児島県人権教育・啓発基本計画 (第二次改定) 検討委員会委員

2. 2014年12月～2022年12月, 鹿児島県事業認定審議会委員

その他-競争的資金 (学内)

1. 鹿児島県立短期大学地域研究学会 (種村特別会員研究寄付金), 「「かごしま外国人材受入活躍推進戦略」を読む」(ゼミナール共同研究)

山本 敬生 准教授

学術論文

1. 「行政指導の違法性に関する一考察」, 単著, 『商経論叢』, 第71号, 2020年10月, pp. 25-50.
2. 「行政行為の附款に関する判例の研究」, 単著, 『商経論叢』, 第71号, 2020年10月, pp. 25-50.
3. 「行政指導の研究」, 単著, 『鹿児島県立短期大学紀要 人文・社会科学篇』, 第71号, 2020年12月, pp. 25-50.

学会活動

日本公法学会, 2001年10月～現在

社会還元

1. 講師
「『NO』と言える鹿児島」, 連合退職者新春講演会, 於: ろうきん鹿児島支店5階, 2020年1月30日
2. 講師
「民主主義と選挙」, 鹿児島市選挙管理委員会・令和元年度「選挙を考える市民のつどい」講演, 於: 鹿児島市民福祉プラザ5階大会議室, 2020年2月1日
3. 講師
「錦江町のミライへつなぐ支援策」の講評, 錦江町新型コロナウイルス対策の講評者, 於: 錦江町役場, 2020年7月20日
4. 講師
「18歳選挙権を問う」, 造士館講座, 於: 鹿児島大学共通教育棟2号館211号室, 2020年10月24日
5. 講師
「偉大な発明としての選挙」, 令和2年度伊敷公民館講座「いきいきシニア大学」, 於: 伊敷公民館, 2020年10月28日
6. 講師
「行政法」, 財団法人鹿児島県市町村振興協会鹿児島県市町村研修センター・令和元年度特別研修, 於: 鹿児島県自治研修センター, 2020年10月1日～2日
7. 講師
「政策法務」, 財団法人鹿児島県市町村振興

協会鹿児島県市町村研修センター・令和元年度特別研修，於：鹿児島県自治研修センター，2020年12月21日～22日

8. 論説

時論「知事選，市長選に見るリーダー像—為政者は覚悟を示せ—」，南日本新聞，12月13日

社会活動

1. 2005年3月～現在，鹿児島県地方自治研究所研究理事
2. 2013年4月～現在，同研究所自治体創造プロジェクト主査
3. 2017年11月～現在，自治研かごしま編集長
4. 2013年5月～現在，日置市情報公開審査会委員（会長）
5. 2013年4月～現在，日置市個人情報保護審査会委員（会長）
6. 2013年4月～現在，曾於市情報公開審査会委員（会長）
7. 2013年4月～現在，曾於市個人情報保護審査会委員（会長）
8. 2013年4月～現在，いちき串木野市情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
9. 2013年4月～現在，志布志市情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
10. 2013年4月～現在，伊佐市情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
11. 2013年4月～現在，十島村情報公開審査会委員（会長）
12. 2013年4月～現在，十島村個人情報保護審査委員会委員（会長）
13. 2013年4月～現在，さつま町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
14. 2013年4月～現在，長島町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
15. 2013年4月～現在，湧水町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
16. 2013年4月～現在，大崎町情報公開審査会委員（会長）
17. 2013年4月～現在，大崎町個人情報保護審査会委員（会長）
18. 2013年4月～現在，東串良町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
19. 2013年4月～現在，錦江町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
20. 2013年4月～現在，南大隅町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
21. 2013年4月～現在，肝付町情報公開審査会委員（会長）
22. 2013年4月～現在，肝付町個人情報保護審査会委員（会長）
23. 2013年4月～現在，中種子町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
24. 2013年4月～現在，南種子町情報公開審査会委員（会長）
25. 2013年4月～現在，南種子町個人情報保護審査会委員（会長）
26. 2013年4月～現在，宇検村情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
27. 2013年4月～現在，龍郷町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
28. 2013年4月～現在，喜界町情報公開審査会委員（会長）
29. 2013年4月～現在，喜界町個人情報保護審査会委員（会長）
30. 2013年4月～現在，知名町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
31. 2013年4月～現在，与論町情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
32. 2013年4月～現在，鹿児島県市町村総合事務組合情報公開審査会委員（会長）
33. 2013年4月～現在，鹿児島県市町村総合事務組合個人情報保護審査会委員（会長）
34. 2013年4月～現在，いちき串木野市・日置市衛生処理組合情報公開審査会委員（会長）
35. 2013年4月～現在，いちき串木野市・日置市衛生処理組合個人情報保護審査会委員（会長）
36. 2013年4月～現在，指宿南九州消防組合情報公開審査会委員（会長）
37. 2013年4月～現在，指宿南九州消防組合個人情報保護審査会委員（会長）
38. 2013年4月～現在，沖永良部与論地区広域事務組合情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
39. 2013年4月～現在，曾於地区介護保険組合情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
40. 2013年4月～現在，鹿児島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
41. 2013年4月～現在，徳之島町情報公開審査会委員（会長）
42. 2013年4月～現在，徳之島町個人情報保護審査会委員（会長）
43. 2013年4月～現在，屋久島町情報公開審査会委員（会長）
44. 2013年4月～現在，屋久島町個人情報保護審査会委員（会長）

45. 2013年4月～現在，大和村公文書等開示審査会委員（会長）
46. 2013年4月～現在，大和村個人情報保護審査会委員（会長）
47. 2013年4月～現在，和泊町情報公開審査会委員（会長）
48. 2013年4月～現在，和泊町個人情報保護審査会委員（会長）
49. 2015年3月～現在，いちき串木野市自治基本条例推進審議会委員
50. 2015年6月～現在，鹿児島県後期高齢者医療広域連合特定個人情報保護評価審査会委員
51. 2017年4月～現在，鹿児島県市町村総合事務組合退職手当審査会委員
52. 2017年2月～現在，霧島市情報公開・個人情報保護審査会委員（会長）
53. 2017年2月～現在，霧島市個人情報保護審議会委員（会長）
54. 2017年2月～現在，霧島市行政不服審査会委員（会長）
55. 2017年4月～現在，始良市公平委員会（委員長）
56. 2017年5月～現在，始良市行政不服審査会委員（会長）
57. 2018年12月～現在，鹿児島県全国がん登録情報有識者会議委員
58. 2020年2月～10月，始良市行政改革推進委員会（会長）

その他

1. 南日本新聞コメント，2月8日，4月14日，6月26日，30日，7月2日，10月16日，12月30日
2. MBCニュース出演，5月11日
3. KYTニュース出演，6月4日

『KUROSHIO』第46卷

2021年3月31日 発行

編集・発行 **鹿児島県立短期大学地域研究所**
〒890-0005

鹿児島市下伊敷一丁目52番1号

TEL: 099-220-1111

FAX: 099-803-4473

印刷所 青葉印刷株式会社

〒890-0045

鹿児島市武1丁目11番17号

TEL: 099-251-1821

FAX: 099-251-2144
